

定期的な空き家対策について

1. 空き家等実態調査 資料 3 別紙 1

職員が1年を通して市内全域の空き家の実態調査を行いました。空き家数は、調査開始以来増加しており、令和4年度は、1,096件という結果となりました。年度別空き家実態調査結果推移表からは、増加（認定）だけではなく、更地になったり、新たに人が居住し、空き家が解消されていることも確認することができ、ある程度循環していることが分かります。

2. 空き家に関する苦情対応

空き家の近隣住民からの空き家の適正管理についての苦情については、原則所有者に文書を送付し、対応を促していますが、令和4年度の通知件数等は下表のとおりです。

苦情内容	通知件数	対応件数	対応率
草木、害虫に関するもの	64件	47件	73.4%
建築物等に関するもの	5件	3件	60.0%
その他（物の散乱等）	13件	5件	38.5%
合 計	82件	55件	67.0%

※対応状況の確認は令和5年3月末時点

苦情内容は、例年通り草木に関することが大半を占めており、対応率は70%を越えています。対応がされず数年に渡り対応を求めている空き家も存在します。

3. 空き家無料相談会の実施

岐阜県住宅供給公社からの講師派遣により、空き家等無料相談会を6回企画（5・6・7・9・11・2月※）し、合計8件の相談に対し、講師が適切な助言を行いました。

※7月、11月は相談者なし

【相談内容の一部】

- ・自分が亡くなる前に準備しておくべきことは何か。
- ・母が住んでいた家を相続したがどうすればいいか、古い家だが売れるのか。
- ・実家が空き家だが将来子どもが住む可能性がある。どうやって管理するべきか。

4. 可児市空き家・空き地活用促進事業助成金の交付

予算210万円に対し、200万円の助成を行いました。（取壊し8件、リフォーム0件）

5. 空き家所有者向けパンフレットの作成 資料 3 別紙 2

空き家の所有者に売買や賃貸を促すための啓発用パンフレットを作成しました。空き家の適正管理のお知らせ文書やアンケート実施時に同封することを予定しております。